

平成 29 年 7 月 11 日

内分泌・糖尿病内科

松田 昌文 先生

埼玉医科大学総合医療センター

内分泌・糖尿病内科

松田 昌文

## 第 112 回 糖尿病臨床カンファレンスのお知らせ

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、第 112 回糖尿病臨床カンファレンスを下記の通り開催いたします。

ご多忙のことと存じますが、多くの方々の御参加をお待ちしております。

敬 具

記

【日 時】 平成 29 年 8 月 8 日 (火) 18:30~19:45

【場 所】 大講堂

【テーマ】 (1) 「今後の大病院での栄養代謝管理と糖尿病診療のありかた」 18:30~19:30

国立がん研究センター 中央病院 総合内科 大橋 健 先生

(2) 「栄養代謝センター WGについて」 19:30~19:45

内分泌・糖尿病内科 松田 昌文

(3) その他

以 上

埼玉医科大学総合医療センター

各部門 御中

「栄養代謝センター」ワーキンググループのご案内

糖尿病は5大疾病の一つであり当院は地域中核病院かつ医育機関として役割を果たすことが期待されています。医療面で当院が病院機能として重視されることは急性代謝失調、周術期、周産期の糖代謝や甲状腺機能管理を含めた代謝管理であり、医育機関としては医師のみでなく多職種の次世代を担う人材育成が重要と考えます。

栄養代謝管理は病院全体としてはNST (nutrition support team) でチーム医療をしています。多職種のメンバーで組織され医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、リハビリテーションスタッフ、歯科衛生士、医用工学部スタッフや事務職員などで構成されています。摂食・栄養障害、生活習慣病対策、病院食改善、褥瘡管理、呼吸療法、感染症対策が含まれます。NSTは院長直属の組織ですが栄養部スタッフで主に運用していました。日本ではこれまで血糖管理は各科の医師、糖尿病科の医師がインスリン使用などを用いて行ってきましたが栄養食事管理と密接に結びついています。また内分泌・糖尿病内科の医師が併科診療で多くの時間を費やしても実績が評価されない状況があります。一方で特定看護師はインスリン調節が法律的にできるようになりました。また病棟ごとに管理栄養士やリンクナースを設置する方向にあり、その中で糖尿病科の医師がこのチームに関与し一定の成果を得ている施設も出ています。

一方、糖尿病の診療は医師のみでは不可能であり糖尿病療養指導士（看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技士、理学療法士など）やその資格取得希望者が患者に接しチーム医療をしてきました。特に当院では臨床心理士の介入も10年来実施されています。そして糖尿病教育入院、糖尿病教室の運営スタッフの勉強会として糖尿病臨床カンファレンスを行ってきました。糖尿病教育入院、糖尿病教室の運営は内分泌・糖尿病内科が行ってきましたが本来この多職種チームは院内組織として機能すべきと感じます。NSTとの重複もあり一元的に活動をすることが病院機能に貢献するものと期待します。患者教育に対する教材（DVD、患者指導用器材）や指導室も充実しており日本糖尿病療養指導士の資格取得者数も全国3位となっておりぜひこの活動が維持できることを期待します。

そこでこれらのチーム医療を1つにまとめ「栄養代謝センター」として運営活動することができないかと企画しました。そのキックオフミーティングを開催します。

2017年8月8日 18:30より 大講堂にて

第112回 糖尿病臨床カンファレンス

演題：今後の大病院での栄養代謝管理と糖尿病診療のありかた

演者：国立がん研究センター 中央病院 総合内科 大橋 健 先生

栄養代謝センター ワーキンググループで「栄養代謝センター」について病院長に現状の問題点や栄養代謝センターの当院でのあり方をまず具申し現実化したいと考えます。

2017年7月7日

栄養代謝センター ワーキンググループ代表 松田昌文

# 第112回 糖尿病臨床カンファレンス

「栄養代謝センター」ワーキンググループ(WG) キックオフミーティング

2017年8月8日(火) 18:30 5階大講堂

(1) 「今後の大病院での栄養代謝管理と糖尿病診療のありかた」 18:30-19:30  
国立がん研究センター中央病院 総合内科 大橋 健先生

(2) 「栄養代謝センターWGについて」 19:30-19:45  
栄養代謝センターWG 代表 松田 昌文 (内分泌・糖尿病内科)

---

糖尿病は5大疾病の1つです。地域医療計画では当院は中核病院として専門的医療と急性期医療を担当します。また医育機関として多職種の育成を行ってきました。今後「栄養、代謝に問題のある患者さまに一番よいチーム医療を提供する」ことができるよう、「栄養代謝センター」を設立運営してゆく方針です。

糖尿病臨床カンファレンスは糖尿病教育入院、糖尿病教室を運営してきた多職種（医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、リハビリ科スタッフ、臨床心理士）チームを中心に糖尿病診療の勉強会をこれまで行ってきました。今後は栄養、代謝の問題をかかえた患者さまの診療支援をチームで行う為の「栄養代謝センター」が運営することになります。これはNSTと密接に連携し糖尿病や栄養代謝疾患の診療に従事する組織を想定しています。